

渋谷駅前で鉄骨崩れる＝再開発工事現場、けが人なし―東京

6/18(日) 23:21 配信



18 日午後 4 時 50 分ごろ、東京都渋谷区渋谷の JR 渋谷駅東口の再開発工事現場で、「鉄骨が崩れた」と都営バスの男性係員から 110 番があった。

足場に使われていた約 15 トンの鉄骨が防護フェンスに倒れかかって止まり、約 400 キロの鉄板 1 枚が歩道に落ちたが、けが人はいないという。

警視庁渋谷署によると、足場の解体作業中に 10 メートル以上の大きさの鉄骨が崩れ、フェンスの上に倒れた。鉄板のほか鉄パイプなどが歩道に落ちたが、ぶつかった人などはいなかった。

現場は渋谷駅東口のバスターミナル付近で、工事現場の間を通り抜ける通路のような歩道。駅周辺は人通りが多いという。